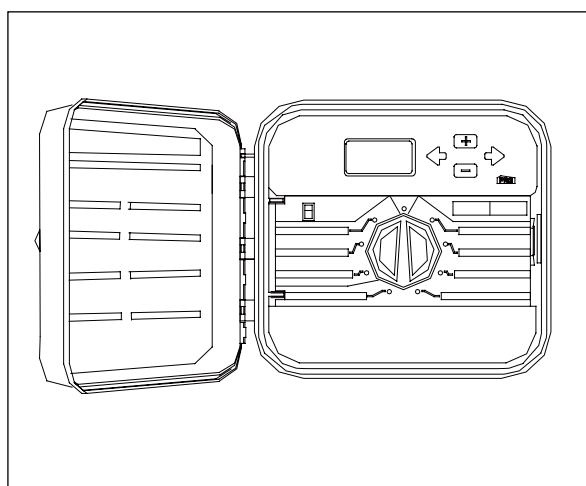
取扱説明書

No.C10-01-07

C10SR300C／C10SR600C／C10SR900C
C10SR1200C／C10SR1500C

プロCコントローラーシリーズ

この度はプロCコントローラーをご購入頂きありがとうございます。
ご使用の前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

目次

日常ご使用して頂くお客様へ

機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。
万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、
設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、
散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ

●本製品の設置の際には「防水コンセントプラグ」と「9Vアルカリ電池」を
別途ご用意下さい。
●この説明書と製品保証書は、工事完了後は必ず管理者様、施主様
（日常操作可能な方）にお渡し下さい。
お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

グローベン株式会社　URL　http://www.globen.co.jp　Email　info@globen.co.jp

本社(営)	〒455-0025　名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL　052-829-0800　FAX　052-829-0801	関西(営)	〒666-0016　兵庫県川西市中央町18-26 TEL　072-755-8075　FAX　072-755-8077
関東(営)	〒336-0926　さいたま市緑区東浦和7-24-28　5-102 TEL　048-810-5500　FAX　048-810-5163	商品センター	〒455-0025　名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL　052-619-6788　FAX　052-619-6786

コントローラー設置日:　　　　年　　月　　日

11.08

1. ご使用の前に

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。

警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- 本製品は自動散水制御専用の機器です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。
- 停電による停止や誤作動などの原因で、使用製品以外に深刻な損害の出る事があります。
  必ず日常点検を行い、停電による停止や誤作動がないか確認して下さい。

注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- 散水機器の使用は上水道もしくは、清水を必ず使用して下さい、井戸水、雨水などの場合には十分にろ過を行ってから使用して下さい。ろ過が不十分の場合には機器の動作不良の原因になります。
- 散水機器を使用しての薬剤散布は行わないで下さい。
- 散水機器のフィルター、本体の汚れは必要に応じて水で洗浄して下さい。溶剤、薬品は使用しないで下さい。
- 凍結時、または凍結が予想される場合には使用しないで下さい。
- 電磁弁、センサーは当社指定の物をご使用下さい。
- グローベン自動散水システムはスプリンクラー、ドリップチューブなどの散水機器に適した範囲の水圧でご使用下さい。水圧が基準範囲外の場合散水が機能しなかったり、機器が破損する場合があります。下記をご参照下さい。

使用水圧	**ドリップチューブ、簡易ポイントタイプ:150～300Kpa** **小・中規模スプリンクラー:200～350Kpa、大規模スプリンクラー:300～600Kpa**

- グローベン自動散水システムは散水を補助するものです。使用中に植物等に被害が生じても、当社は責任を負いかねますので予めご了承頂く様お願い申し上げます。
- 設置の際には以下の場所を避けて下さい。機器が誤作動する場合があります。
  ■高周波ノイズ・電界・磁界の強い場所
  ■振動や衝撃の発生する場所
  ■湿気や粉塵、腐食性ガス（アンモニア、亜硫酸等）のある場所
- コントローラー設定後は必ずカバーを閉めて、施錠をして下さい。カバーが空いた状態で雨水などが侵入するとコントローラーが故障する恐れがあります。

製品保証について

本製品の製品保証については、製品出荷時に添付してある保証書をご参照下さい。

施工の際に注意して頂きたいこと

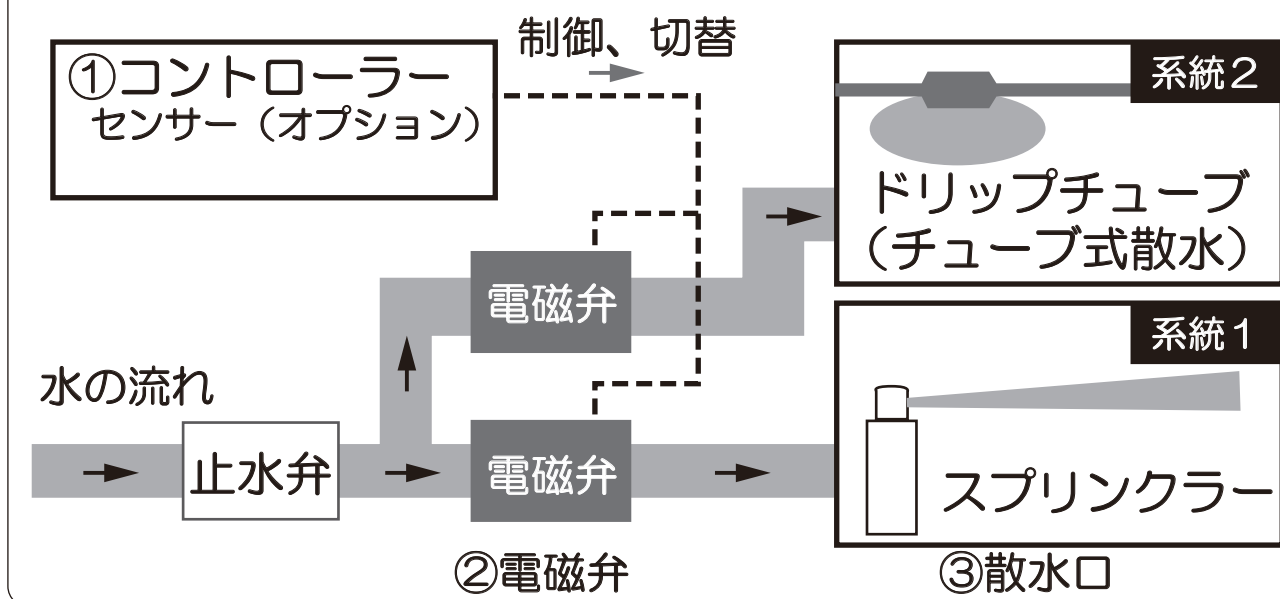
※8ページもあわせて、ご参照下さい。

・AC100V用のコンセントプラグ、ケーブル類は付属しておりません。
お手数ですが、別途ご用意下さい。
・設置の際には他の電化製品から5m以上離して下さい。
コントローラーが誤作動する恐れがあります。
・本コントローラーは家屋の壁面に設置することを前提に設計されており、
完全な防水機能は備わっておりませんので、屋根、軒下など雨除けの
ある箇所に取付下さい。
・庭、花壇など屋根が無い場所に設置する場合には、市販の配電盤
BOXなどを別途ご用意下さい。弊社でも取り扱っておりますので、
必要の場合にはご相談下さい。
・電磁弁、センサーは当社指定のものをご使用下さい。

2. 商品仕様

サイズ（mm）	H226×W251×D109（外寸法）
重量（g）	1480g（C10SR300C）
電力	AC100V　50Hz／60Hz
トランス出力	AC24V 1．00A
ステーション出力	24VAC 0．56A
最大出力	24VAC 1．00A
バックアップ用電源	9V電池（別売）
電池寿命（AC電源の供給がある時）	約1年
電池寿命（AC電源の供給が無い時）	約100時間
散水設定時間	1分～6時間まで（分刻み）
散水設定回数	1日1回～最大12回（PRG使用時）
散水スケジュール	7日カレンダー
制御可能系統（電磁弁）数	C10SR300C：3系統／C10SR600C：6系統 C10SR900C：9系統／C10SR1200C：12系統 C10SR1500C：15系統

コントローラーは常時電源使用しますので絶えず通電するようにして下さい。AC100V電源の供給が無い場合、
バックアップ電池の消耗が通常より早くなりますのでご注意下さい。

自動散水の仕組み

①コントローラー センサー（オプション）	散水の開始時間や散水時間の制御を行います。 センサー：作動時の制御を行います。
②電磁弁	給水管の開け閉めを行います。　電磁弁数＝系統数
③散水口	ドリップチューブ：低木・花壇などに最適です。 スプリンクラー：芝生・苔類などに最適です。

※プロCコントローラーで自動散水するには専用の電磁弁が別途必要になります。

自動散水の系統分けについて

水を撒く範囲が広い場合やスプリンクラー式、チューブ式など異なる散水方式を一つのコントローラで併用する場合は、電磁弁を複数使って系統分けして、範囲を区切って順番に水をまきます。その際は、以下のことにご留意下さい。

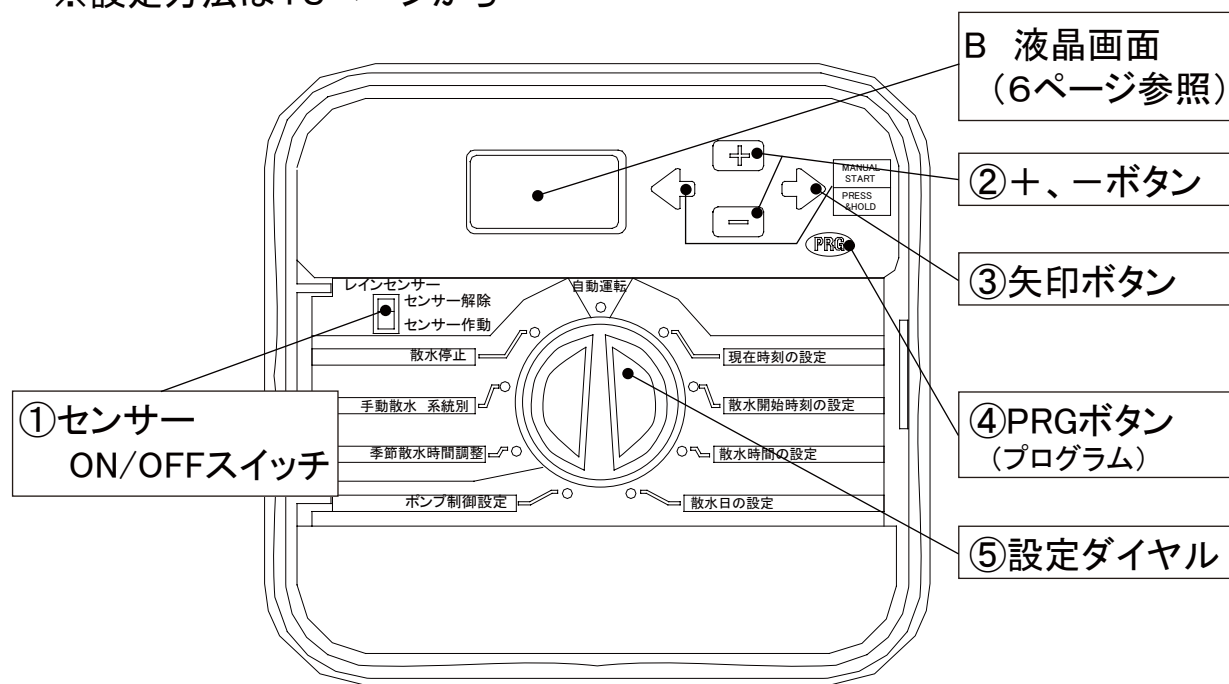
・散水は各系統ごとに行われます、すべて同時に水をまくことは出来ません。
・散水時間 RUN TIME（水をまく時間） は各系統ごとに設定する必要がありますが、開始時刻 START TIME（水をまき始める時間） は順番で行われますので、各系統ごとに設定する必要はありません。（次の系統の散水は自動で始まります。）

コントローラの液晶画面では「STASION」と「番号」で表示されます。

※系統2の表示
系統が変わると数字が変わります。

2. 各部の名称ーA

A:操作パネル前面

※設定方法は13ページから

①センサーON/OFFスイッチ

センサーを接続している場合に使用します。
「作動」はセンサーと連動します。
「解除」はセンサーとは連動しません。

②+、ーボタン

主に数字の増減に使用します。
点滅している数値の変更が可能です。

③矢印ボタン

設定時の項目移動に使用します。

④PRG(プログラム)ボタン

※通常はプログラムAのみで使用して下さい。
1日の散水設定回数を5~12回に
設定する時にプログラムB,Cを使用します。

※		
	A	1~4回
	B	5~8回
	C	9~12回

※熟練者向けの操作です。(25ページ参照)

B 液晶画面

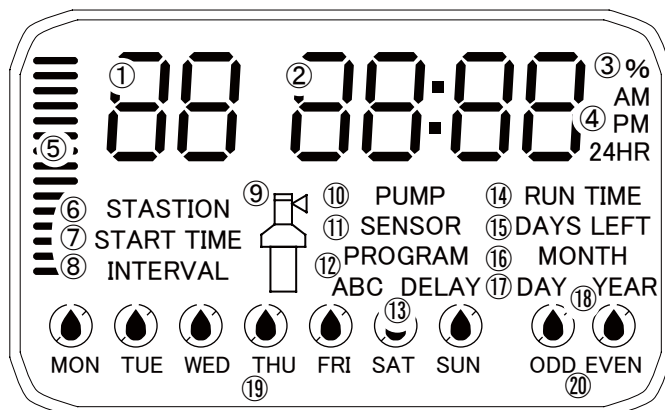
コントローラーの状態を表示します。
画面表示は次ページ(6ページ)にて。

⑤設定ダイヤル

通常は「自動運転」に合わせておきます。コントローラの設定をする時に回します。

- 自動運転／通常のダイヤル位置です。
- 現在時刻の設定／現在時刻を調整します。
- 散水開始時間の設定／散水を始める時間を設定します。(通常4回まで)
- 散水時間の設定／散水をする時間を設定します。(最大6時間まで)
- 散水日の設定／散水する曜日を設定します。(曜日指定可能)
- 散水停止／設定を残したまま自動散水を休止出来ます。散水の中断も出来ます。
- 手動散水系統別／系統毎に手動で散水することが出来ます。
- 季節散水時間調整／入力済みの散水時間を一括で増減する操作が出来ます。
- ポンプ制御設定／ポンプを接続して連動させる設定です。

2. 各部の名称－B

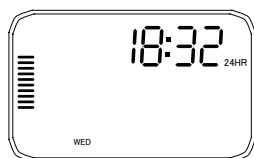
B:液晶画面

①:回数、系統などを表示します
②:時刻、散水時間などを表示します
③:散水時間の増減をパーセント表示
④:24時間、午前午後 -AM/PM/24HR- の表示
⑤:散水時間の増減をグラフで表示
⑥:ステーション STATION 散水系統を表示
⑦:スタートタイム START TIME 散水開始時刻を表示
⑧:インターバル INTERVAL 散水日の間隔を表示
⑨:スプリンクラーアイコン 散水しているときに表示
⑩:ポンプ　（※1:ポンプ連動機能）

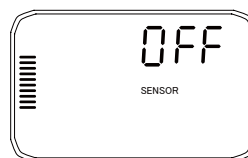
※1:　ポンプ連動は追加オプションになります。詳細は別途問い合わせ下さい。

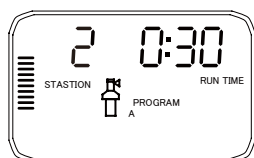
⑪:センサー SENSOR センサーが作動している時に表示
⑫:プログラム PROGRAM プログラムA, B, Cを表示（※2）
⑬:ディレイ DELAY 散水が設定時刻よりも遅れます（※3）
⑭:ランタイム RUN TIME 散水時間を表示
⑮:デイズレフト DAYS LEFT 次の散水日までの残日数（ P24参照）
⑯:月 MONTH 月を設定します
⑰:日 DAY 日を設定します
⑱:年 YEAR 年度を設定します
⑲:曜日を表示
⑳:偶数日、奇数日の散水設定を表示

※2:　通常はプログラムAでご使用下さい。
B, Cで表示された場合はPRGボタンを押してAに戻して下さい。（25ページ参照）

※3:散水時間を延長した場合に予定から時間がずれる場合に表示されます。

普段の液晶表示

自動散水待機状態のときは現在の時刻が表示されます。

センサー作動時の液晶表示

スイッチをセンサーONにして、レイン（雨）センサーが作動している場合は自動散水されず、上記の表示となります。

散水中の液晶表示

系統番号2
残り30分
プログラムA

散水中は以下のものが表示されます。
散水系統番号 STATION
残り散水時間 RUN TIME
プログラム表示 PROGRAM
スプリンクラーアイコンの点滅
（チューブ散水の場合もこの表示となります。）

⚠ センサーをご使用のお客様へ 覚えておいて頂きたい事

レインセンサーは構造上、降雨時でも自動散水を休止しない場合や、晴天時でも自動散水が実行されない場合があります。以下のような時は、故障ではありませんのでご注意下さい。

①散水開始時刻の直前や散水中に雨が降り出した時に水が出ている場合

②散水開始時刻の数時間前にまとまった降雨があり、散水時間になっても水が出ない場合

※　上記以外の表示が出た場合はP26～トラブル対策ページをご参照下さい。

2. 各部の名称－C

C：操作パネル裏面（配電盤）

※　図はSR1200Cです。

△
15系統用
追加モジュール

△
3系統
追加モジュール

A図　プログラムリセットの方法

1. 操作パネル表面のPRG
   のボタンを押します。
2. PRGボタンを押さえたまま、
   操作パネル裏面⑥のリセット
   ボタンをペンなどで1回押し
   てください。
3. 「12：00AM」で液晶が
   点滅したら、PRGのボタンを
   離して、リセット完了です。

※リセットボタンを押した後に
液晶の表示が変わるまで
5秒前後掛かります。時計の
表示が変わっていない場合は
再度リセットの操作を行って
ください。

※2008年以前の商品はリセットの方法が異なります。

①パネルコネクタ：本体と液晶部をつなぎます。
②コントローラを固定するための穴です。3ヵ所あります。
③電源区域：トランス、センサー、その他のシステムをコントローラーに接続します。
④通電プレート：センサー使用時には取り外します。
⑤「SEN」にセンサーの配線を接続します。（接続はP11参照）
⑥リセットボタン：設定をリセットする時に使います。
操作パネルの表面のPRGを押しながら、リセットボタンを押し、12:00AMになるのを確認した後RPGボタンを離して、リセット完了です。（A図参照）
⑦操作パネルを本体から取り外すためのヒンジです。
⑧電圧トランス：AC100VをAC24Vに変換します。
⑨モジュールレバー：「POWER　ON」でモジュール固定＆コントローラー作動、「POWER　OFF」でモジュール取り外し可能＆コントローラーOFFになります。
⑩9V電池：AC電源の無い時に設定を保存、プログラム設定する為のものです。 9V電池だけでは電磁弁は作動しません。
⑪ジャンクションボックス：一次電源をつなげる場所です。
⑫アース線(トランス用)
⑬AC100V電源のコード、コンセントは付属していません。
⑭アース端子（操作パネル用）
※配線コードは別途ご用意下さい。

⑮基本モジュール：1～3ゾーン、マスターバルブ、コモンの端子台です。
⑯COM：電磁弁用の端子、P/MV：ポンプ用の端子、1,2,3：電磁弁端子

側面部、下部

⑰コード、アース用の配線穴（通常空いています）
⑱電磁弁用の配線穴（通常空いています）
⑲センサー用の配線穴（工具で空けて下さい）

3. 取り付け

施工の前にご用意下さい

部材

- 防水コンセントプラグ
- 9Vアルカリ乾電池 （プログラムバックアップ用）
- アンカーネジ（壁面と本体を固定します。） 30mm程度 3本以上
- 電源の延長線（出荷時の付属長さは50cm程度です。）
- 多芯制御線（各種電磁弁、センサー、アース線、アース棒）
- PF管（制御線保護用）
- 圧着端子（防水コネクタ）
- 配管部材
- コーキング剤

工具

- スクリュードライバー
- ドリル
- 配線用工具類（ペンチなど）
- 配管用工具類（塩ビカッター、シールテープなど）
- 掘削工具類

梱包内容

- コントローラー本体×1
- 部品袋（鍵2本、アンカーネジ）
- 壁面固定用型紙
- 取扱説明書（本書）

足らない物があった場合は、お手数ですがご連絡下さい。

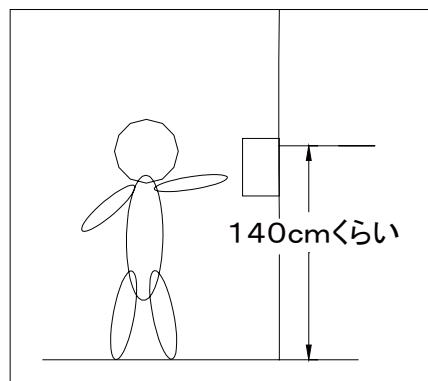
※コンセントプラグは付属してません。
※部品袋は操作パネルを開けて、配電盤部にあります。

設置場所についての注意点

以下のことに注意して設置場所を決めて下さい。

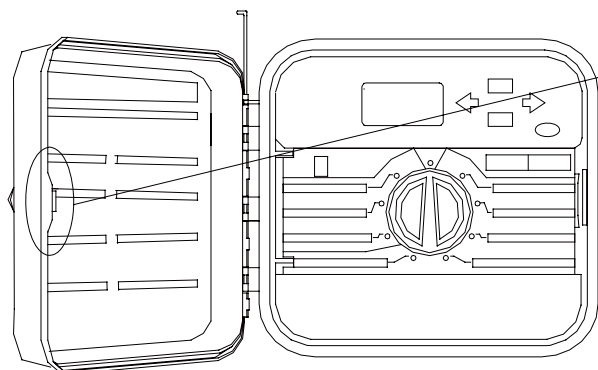
- 設置予定の附近5m以内に電化製品が無いかチェックして下さい。
  電磁波の影響で誤作動、不具合の恐れがあります。
- 壁面に固定する場合は電源が引きやすく、平坦な場所を選んで下さい。
- 小さなお子様が触れて、いたずらする恐れがある場所は避けましょう。
- 設置高さはコントローラが操作しやすい140cmくらいの高さが最適です。

電源供給に付いての注意点

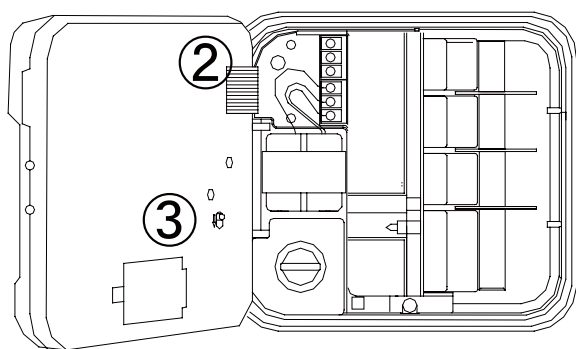
コントローラーを設置の際は常時通電するように設備配線をして下さい。
商業施設、公共施設などで利用する場合には、夜間でも通電をさせて下さい、ブレーカーでON、OFFする配線に組み込んでしまうとバックアップ電池の消耗が早くなり、1週間程度で電池容量が無くなってしまいます。

取り付けの前に

取付けし易くするため、本体からコントローラのカバーと操作パネルを
一旦外します。作業後は逆の手順で、元に戻して下さい。

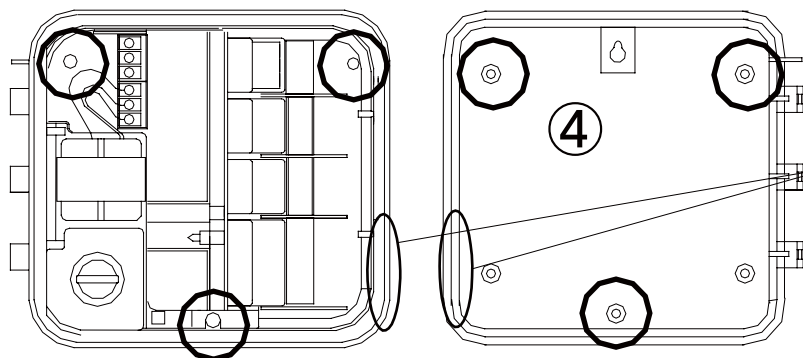
カバーの外し方

手順①カバーと本体の接続部にある金属の棒を
右に回して、上に引き抜きます。

⚠ 出荷時は施錠してありません

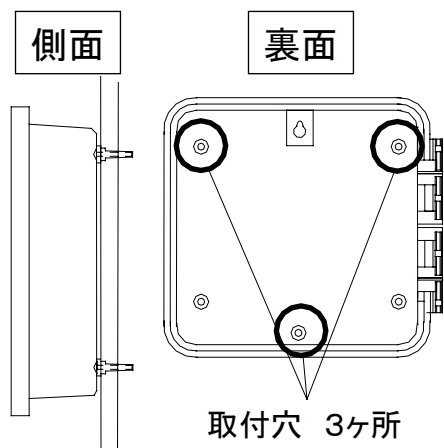
強風などによる開放防止のため、カバーの
ツメがしっかり引っ掛る様に固くなっています。
外側に軽く広げながら空けて下さい。
締める際にもしっかり奥まで締めて下さい。

操作パネルの外し方

手順②操作パネルを開けて、パネルコネクタを
取り外します。

⚠ 金属部分が損傷しないようにご注意ください

手順③ヒンジの取り外しレバーを下げながら、
操作パネルを手前に引いて外します。

手順④コントローラーを壁面に取り
付けるため、本体に6mm穴を
3ケ所ドリル等で空けます。

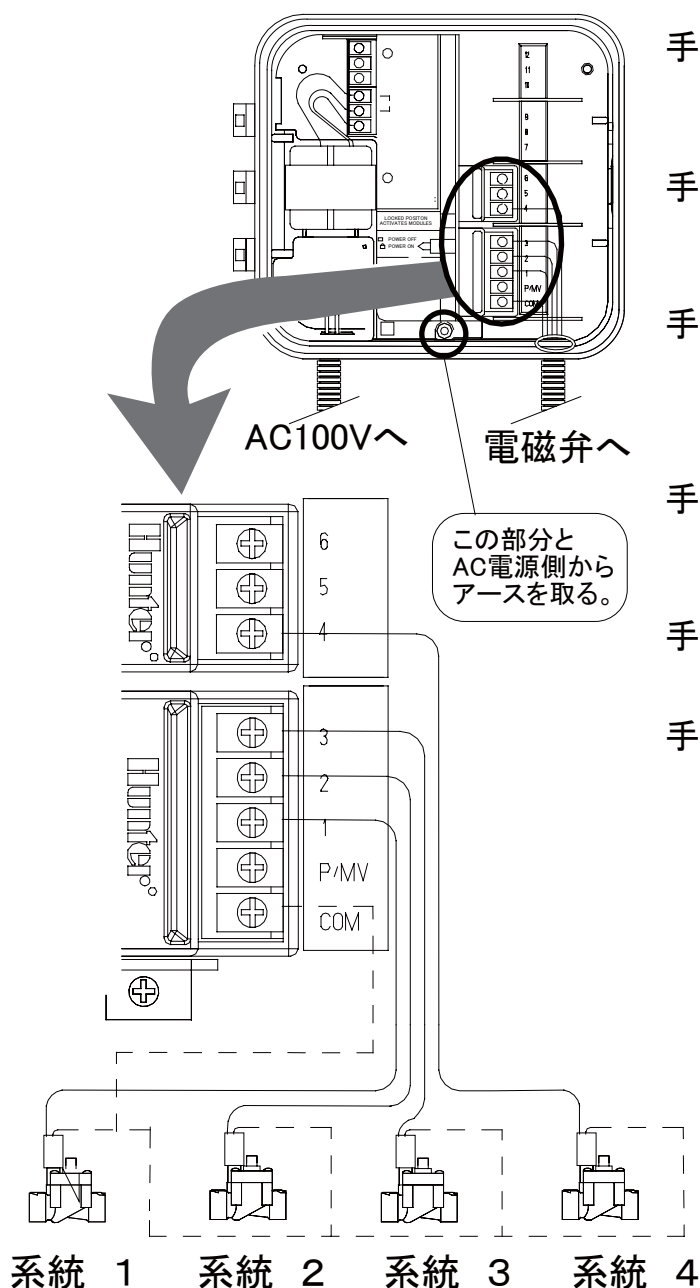
⚠ 横穴はセンサーと電磁弁を
離して設置する時に空けます。
（空けなくても取付可能です。）

取り付け:本体を壁面に固定

手順① コントローラーを取り付ける箇所に同封してある型紙をあてて、印を付けます。

手順② 印を付けた場所にドリルで穴を空けます。

手順③ アンカーネジで本体を3ヵ所固定します。
※固定後、壁面とコントローラーとの隙間をコーキング剤で埋めて下さい。

固定用のアンカーネジは躯体壁面に合わせて別途ご用意下さい。

取り付け:電磁弁の接続

手順① 電磁弁の設置場所を決めた後に、コントローラーと電磁弁間の制御線のルートを決めます。

手順② コントローラーの底部右にある電磁弁接続用の穴にPF管(保護管)を接続します。

手順③ 電磁弁から出ている制御線の片方を延長して、コントローラーの系統番号に接続します。(『STASTION』の番号になります。)

手順④ 電磁弁の制御線のもう一方を共通線(『コモン線』点線部分)で全てつなぎコントローラーの「COM」と接続します。

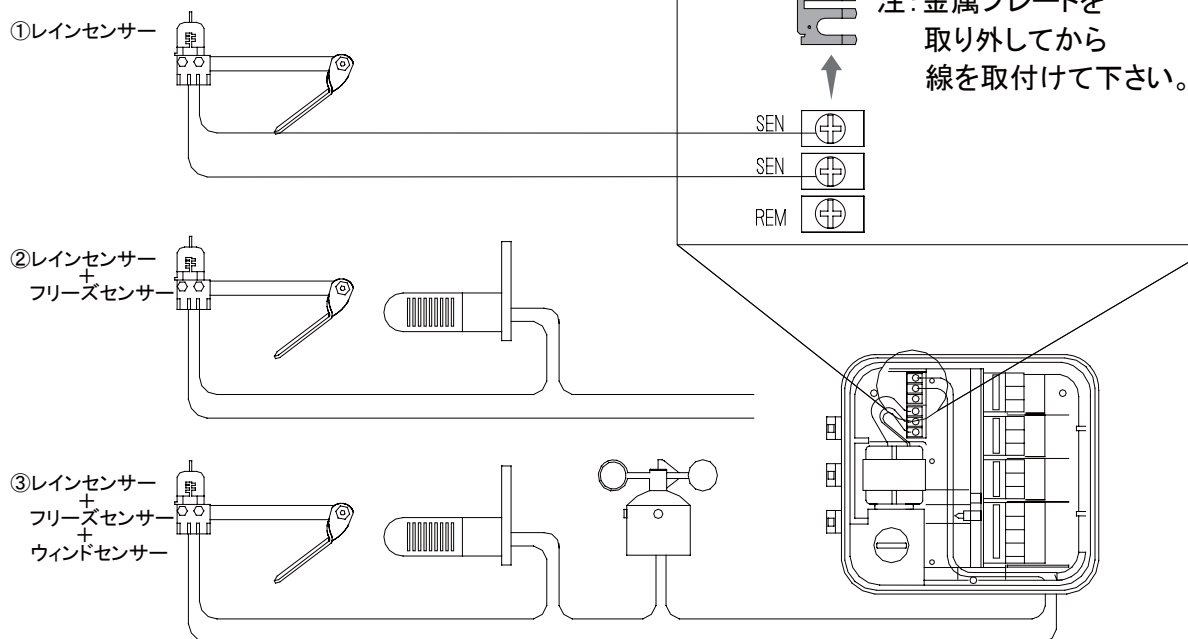
手順⑤ アース線をコンセント側とモジュール下の2ヶ所取り完了です。

手順⑥ AC100V電源を防水コンセントや、配電盤に接続して下さい。

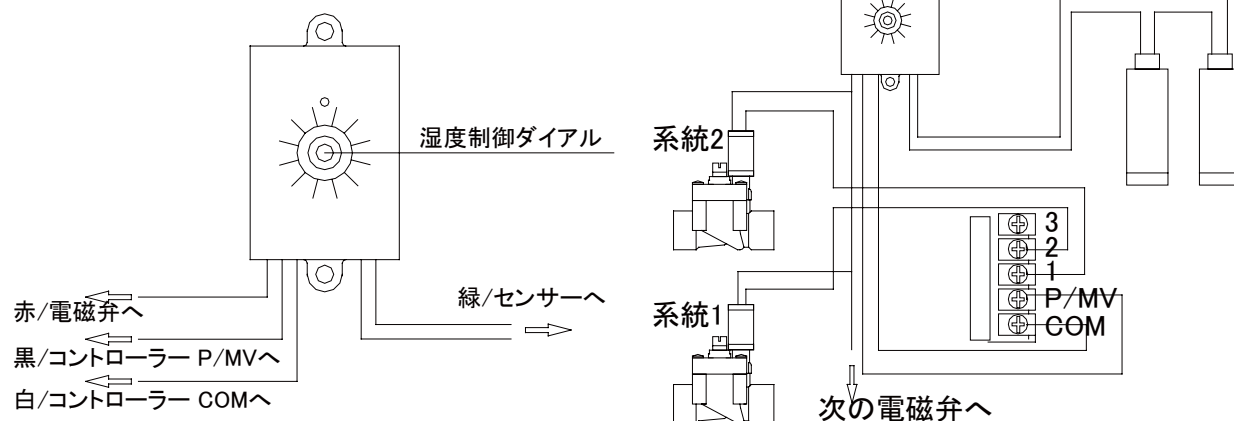
接続の際の注意事項

- 電源は、すべての結線が完了した後に安全を確認して入れて下さい。
- 制御線同士をつなぐ場合は圧着端子などを使用して、漏電や混線の無い様にして下さい。
- 電磁弁に極性はありません。
- 電磁弁の取扱いについては、電磁弁の取扱説明書をご参照下さい。

取り付け:各センサーの接続

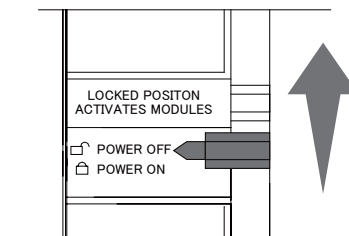
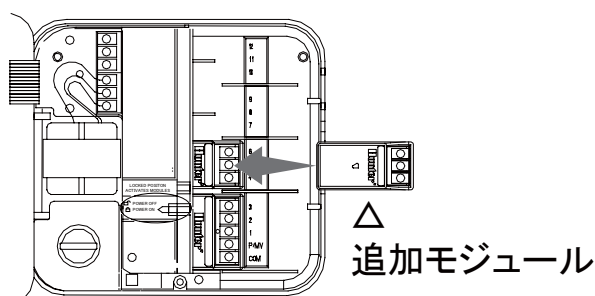
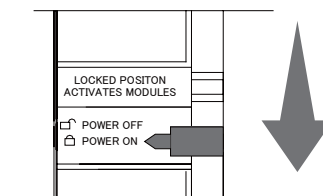
別売りの専用センサーを使うことによって、雨天、低温時、強風の時に一時的に散水を休止することが出来ます。
センサーを結線した後、操作パネルのセンサーON/OFFスイッチを「作動」に合わせる事で機能します。

手順① 電磁弁と同様に底部もしくは側面の穴から配線します。
手順② 「SEN」の端子台に付いている金属プレート(付いている金具)を取り除きます。
手順③ それぞれの「SEN」端末にセンサーの制御線を **直列** に取り付けます。
手順④ 操作パネルのセンサー切替スイッチを「作動」に合わせます。

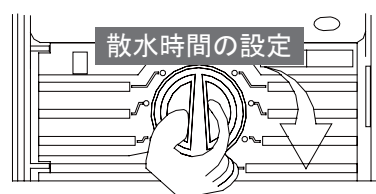
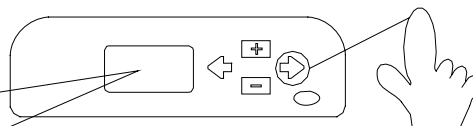
モイスチャーセンサーについて

※接続が他のセンサーとは異なります。
詳細はモイスチャーセンサー取扱説明書をご参照下さい。

取り付け：追加モジュール（４系統以上の場合）

プロCコントローラーは配電盤部分にモジュールを
追加することで最大１２系統までの制御を行うことが出来ます。

⚠ 最初に電源を切って下さい。

手順① モジュールレバーをOFFにします。

手順② 追加モジュールをしっかり奥まで
差し込みます。
（カチッと音がするまで）

手順③ モジュールレバーをONにします。

手順④ コントローラー本体の電源を入れて、
ダイヤルを 散水時間の設定 にします。

＊液晶パネルを外した場合は、
付け直して、パネルコネクタを付けます。

手順⑤ ➡ ボタンを数回押して、
表示される数字を確認します。

認識された数字の数だけ
系統の設定が出来ます。

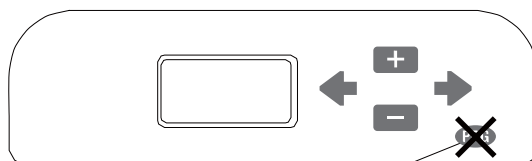
手順⑥ ダイヤルを自動散水に戻します。

⚠ モジュール認識がうまくいかない場合

もう一度手順を最初から行い、
モジュールが奥まで差込まれているか確認します。
その後、コンセントを4，５回差し直しします。

4 操作方法

使用するボタン

・各設定はダイヤルを合わせた後、4つのボタン行います。

※使用しません

＋ － 数字の増減

項目の切り替え

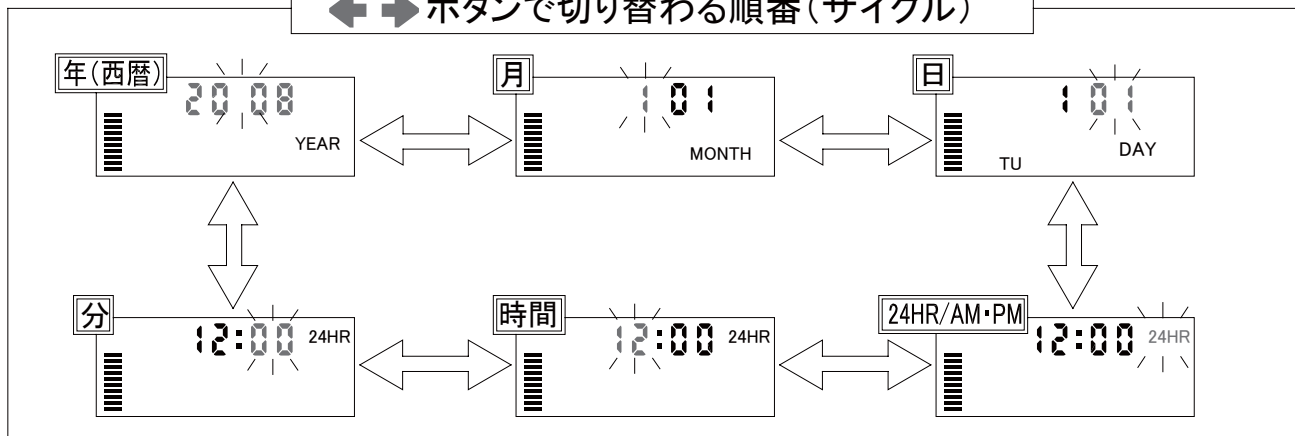
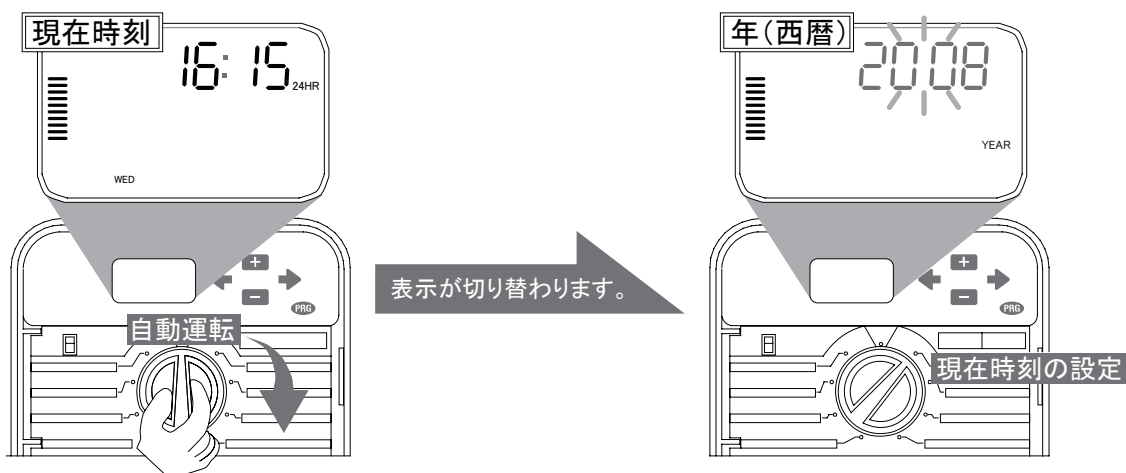
PRG ボタンは設定が複雑になるため、使用を勧めておりません。
液晶表示が「PROGRAM A」になっている事をご確認下さい。
19ページもご参照下さい。

操作方法の目次

i．現在時刻の設定

例：現時刻が2009年3月10日13時47分の場合

ポイント
・＋ － ボタンで数字の変更、← → ボタンで設定項目切替になります。
・曜日は自動で切り替わります。（閏年対応）

← → ボタンで切り替わる順番（サイクル）

・ダイヤルを 現在時刻の設定 に合わせます。

・＋ － ボタンを押して、『年』を合わせたら、→ ボタンを1回押して下さい。

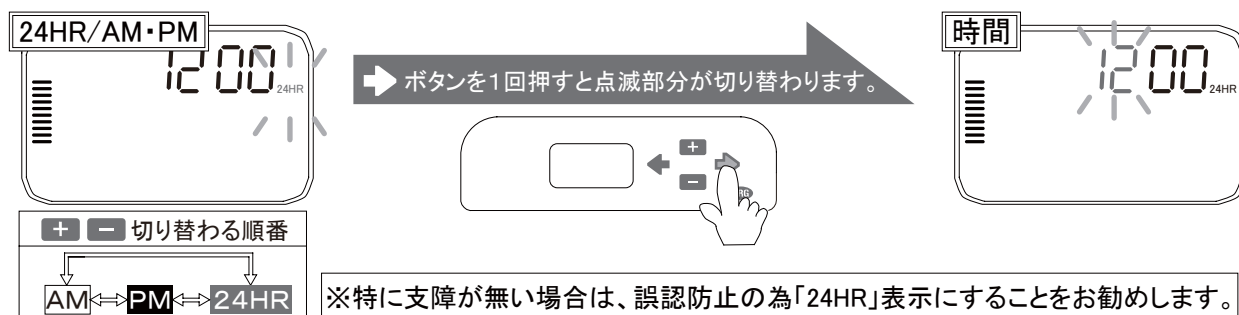
・＋ － ボタンを押して、『月』を合わせたら、→ ボタンを1回押して下さい。

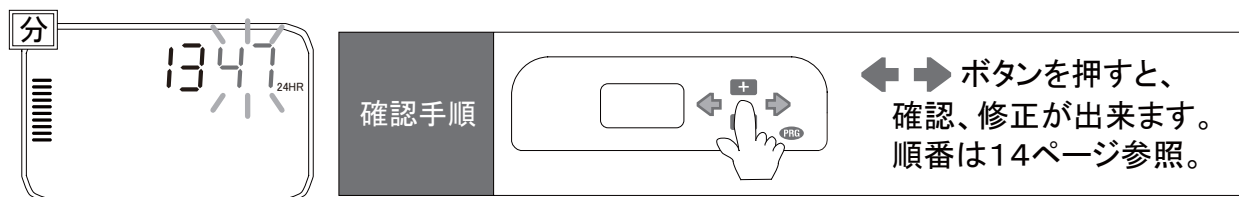
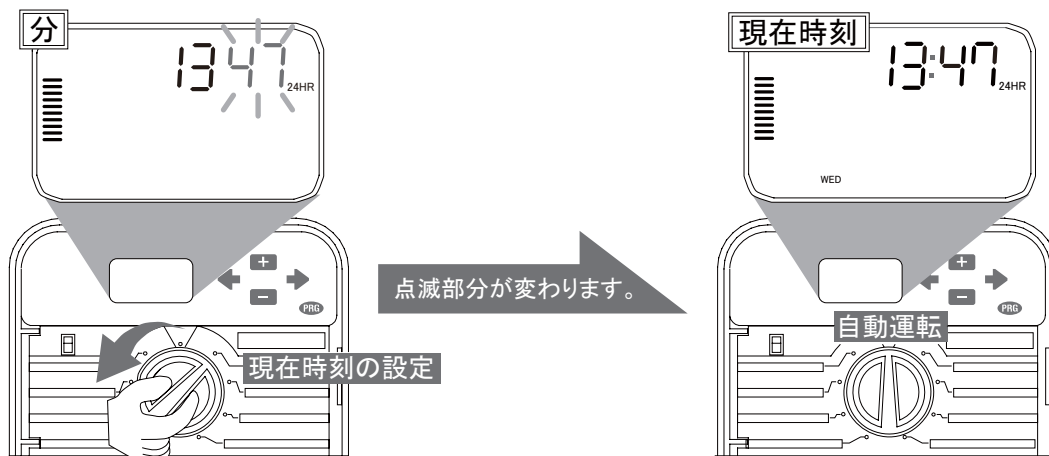
次ページに続く

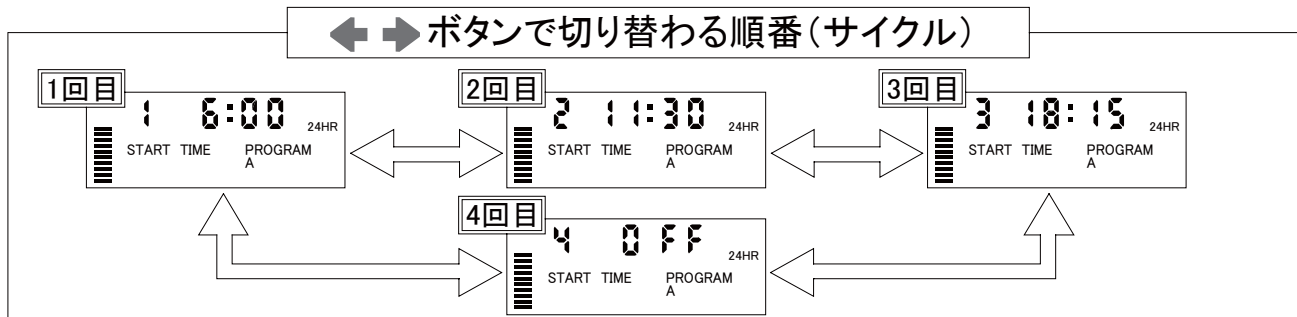
前ページからの続き

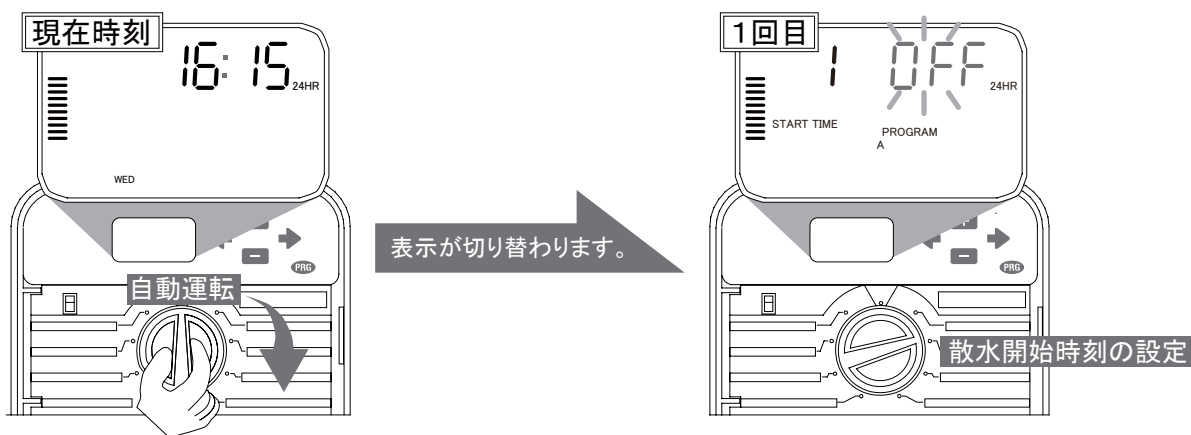
・＋ − ボタンを押して、『日』を合わせたら、➡ボタンを1回押して下さい。

・＋ − ボタンで『24時間表示』か『AM/PM表示』を選択し、➡ボタンを1回押して下さい。

※特に支障が無い場合は、誤認防止の為「24HR」表示にすることをお勧めします。

・＋ − ボタンで『時間』を合わせて、➡ボタンを1回押して下さい。

・＋ − ボタンで『分』を合わせます。入力操作は以上です。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

ii．散水開始時刻の設定 START TIME

・開始時刻は15分単位の設定になります。
・⇦ ⇨ ボタンで散水開始時刻の回数が切り替えられます。
・1日最大4回まで設定可能です。
・≪OFF≫表示の場合は散水されません。
・電磁弁ごとに個別に設定する必要はありません。（順番に実行されます。）

設定例：1回目6：15、2回目17：30、3,4回目未設定の場合

・ダイヤルを 散水開始時刻の設定 に合わせます。

・＋ － ボタンで、1回目の『散水開始時刻』を設定し、⇨ボタンを1回押して下さい。

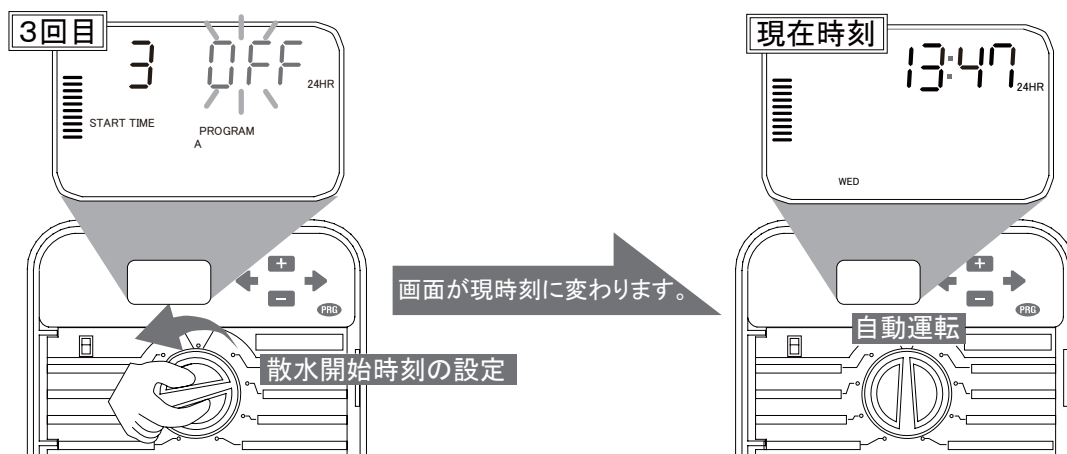
⚠ 開始時刻は15分単位の
設定になります。

次ページに続く

前ページからの続き

・＋ － ボタンで、2回目の『散水開始時刻』を設定し、➡ボタンを1回押して下さい。

入力操作は以上です。確認、修正は⬅ ➡ ボタンを押して下さい。
3，4回目を入れる時は操作を繰り返して下さい。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

設定例：散水の回数を1日2回から1回に変更する場合

・ダイヤルを 散水開始時刻の設定 に合わせます。

既に設定済みの散水開始時刻の1回目が表示されます。

・➡ボタンで散水を止める開始番号に合わせます。

＋ － ボタンで『散水開始時刻』を≪OFF≫にします。

≪OFF≫は「23：45」と「0：00」の間になります。

・⬅ ➡ ボタンで3回目、4回目も≪OFF≫になっているか確認して下さい。

≪OFF≫になっていないと散水してしまいます。

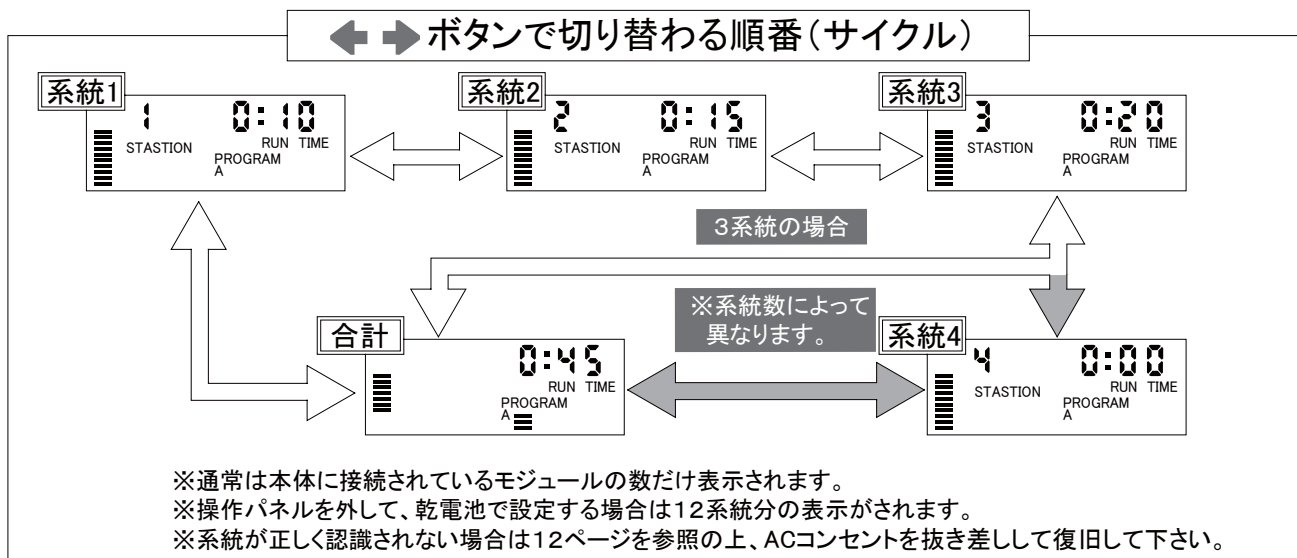
・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

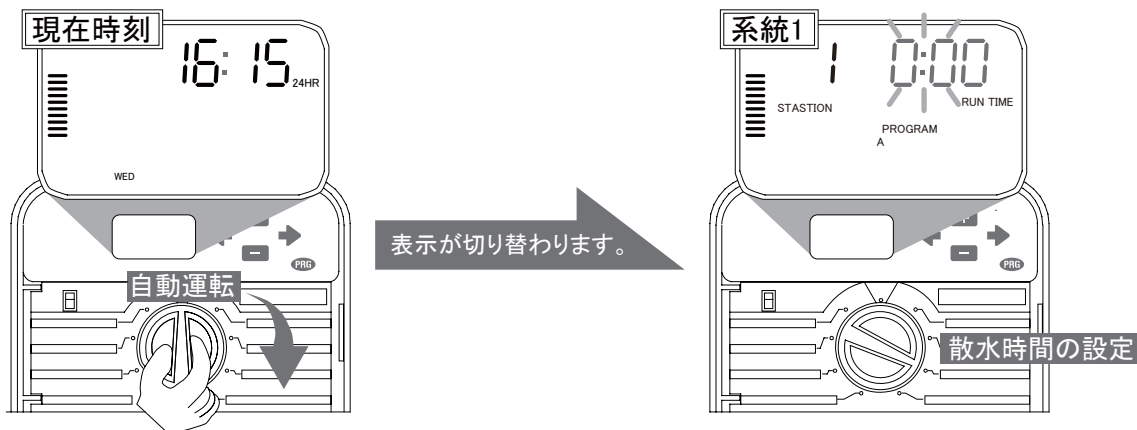
散水開始時刻の設定

iii. 散水時間の設定

RUN TIME
STATION

- 散水時間（水をまく時間）を設定します。
- ⇦ ⇨ ボタンで系統毎の散水時間の設定画面に切り替わります。
- 1回に6時間まで設定可能です。（120分までは1分単位、以降は10分単位）
- 開始時間ごとに散水時間を変更することは出来ません。
- ≪0:00≫表示は散水時間ゼロです。（散水されません。）

※通常は本体に接続されているモジュールの数だけ表示されます。
※操作パネルを外して、乾電池で設定する場合は12系統分の表示がされます。
※系統が正しく認識されない場合は12ページを参照の上、ACコンセントを抜き差しして復旧して下さい。

設定例：系統1=10分、系統2=30分の場合

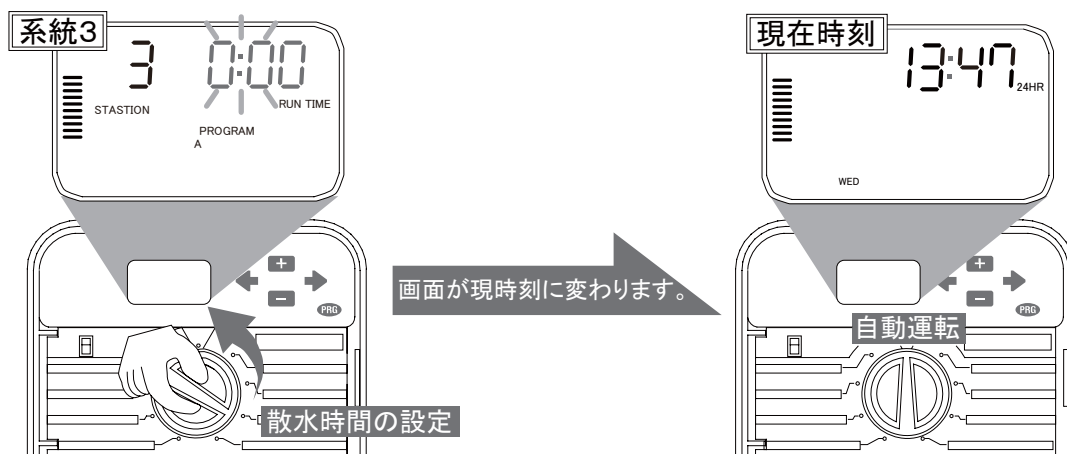
- ダイヤルを 散水時間の設定 に合わせます。

- ＋ － ボタンで、系統1の『散水時間』を設定し、⇨ ボタンを1回押して下さい。

⚠ 120分まで1分単位、
以降は10分単位になります。

次ページに続く

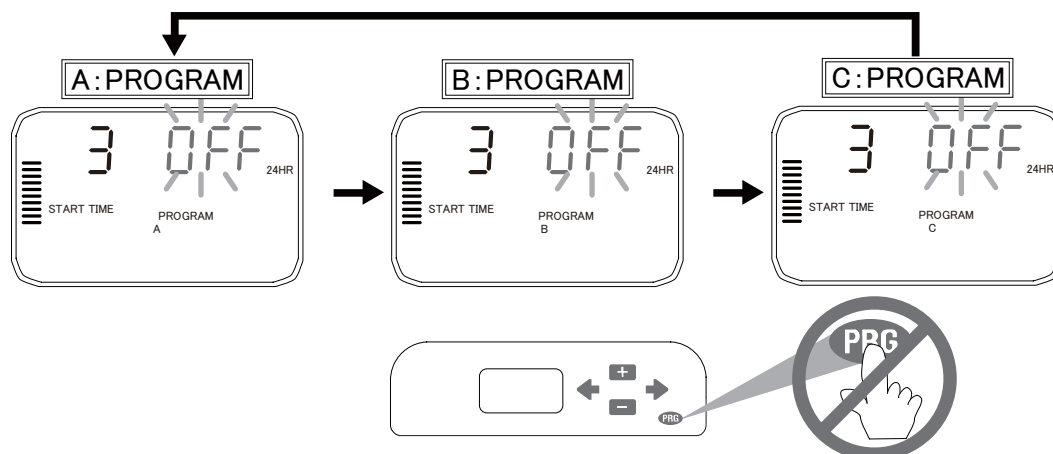
前ページからの続き

・[+] [−] ボタンで、系統2の『散水時間』を設定し、➡ボタンを1回押して下さい。

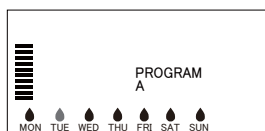
・入力操作は以上です。確認、修正は ⬅ ➡ ボタンを押して下さい。
・3系統以上の設定が必要な場合は操作を繰り返して下さい。
・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

⚠注意事項:RPG入力について

PRG ボタンは通常使用しない為、押さない様にして下さい。

設定入力中に誤って、押してしまった時は、再度ボタンを押して
"A"に戻して下さい。
※(PRG)のB・Cは初期設定がOFFになっています。
※使用方法の詳細は25ページをご参照下さい。

散水時間の設定

ⅳ. 散水日の設定

・散水日（水をまく曜日）を設定します。
・曜日ごとに設定可能です。
・３日間で１日だけ散水の繰り返しなどの設定ができます。

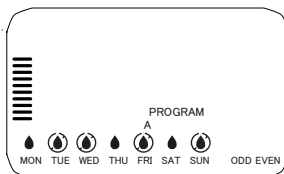
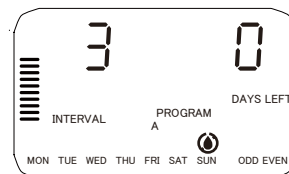
※各曜日の順に点滅が変わります。

※ODD【奇数】⇔EVEN【偶数】⇔インターバル各曜日の順に点滅が変わります。

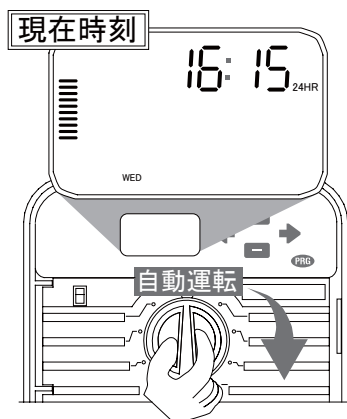
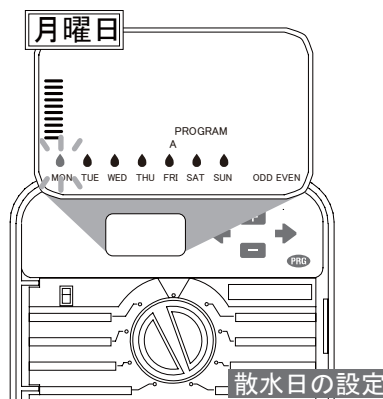
※一番最後に設定した曜日間隔で散水されます。
※インターバルは「2」で2日間に1回（1日おき）、「5」で5日に1回（4日おき）散水されます。
※インターバルで「1」の場合は毎日散水されます。
※奇数日、偶数日はカレンダーに連動しています。年月日の設定を間違えずに設定して下さい。

液晶表示について

MON 散水する日（月曜日）

MON 散水しない日（月曜日）

例①：月曜、木曜、土曜に散水する場合

例②：3日に1回散水するが、毎週日曜は散水しない場合

設定例：曜日ごとに設定する場合

・ダイヤルを 散水日の設定 に合わせます。

表示が切り替わります。

・散水日を設定します。

・◀ ▶ボタンを押すと曜日が切り替わります。
・＋ －ボタンを押して設定します。

	ボタン	液晶表示
散水する日	＋	MON（月曜日）
散水しない日	－	MON（月曜日）

⚠ ＋ －ボタンを押すと、次の曜日に移動します。
戻る場合は◀ボタンを押して下さい。
『日曜』の次は『奇数偶数設定』、『月曜』の前は、『インターバル』です。（切り替えサイクル参照）

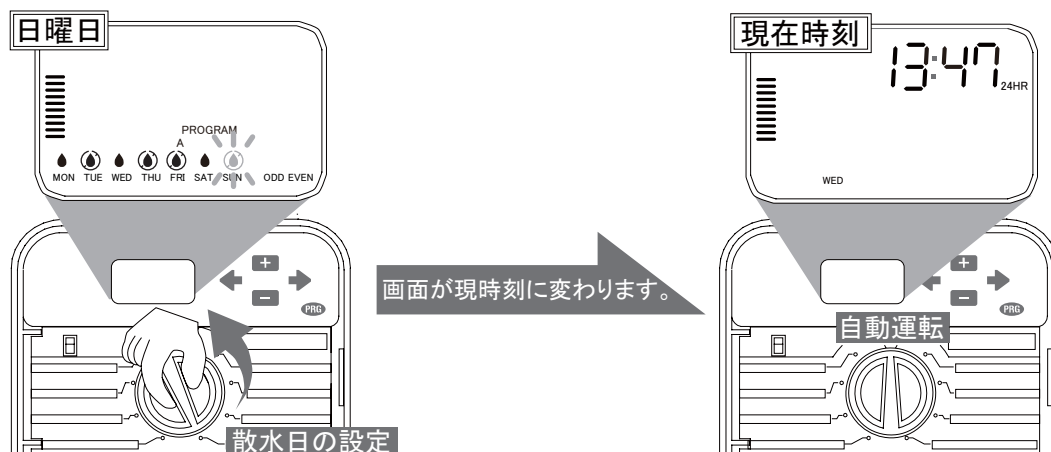
次ページに続く

前ページからの続き

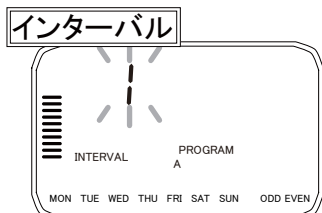
入力操作は以上です。確認、修正は ⬅ ➡ ボタンを押して下さい。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

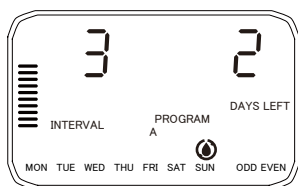
注意事項

ダイヤルを回す直前の設定画面が実行されます。
インターバルなどの設定画面になっていないか確認して下さい。
下図をご参照下さい。

設定例:3日に1回散水するが毎週日曜日は散水しない場合

・ダイヤルを 散水日の設定 にし、インターバル散水設定の画面にします。(P.20参照)

⬅ ➡ ボタンを押して、表示を切り替え ＋ − ボタンで散水間隔を設定して下さい。

「3」の場合は3日間で1回(2日おき)
「5」の場合は5日間で1回(4日おき)
「1」の場合は毎日散水されます。
※「31」まで入力可能

・散水停止日を設定します。

- ➡ ボタンを押すと「DAYS LEFT」が設定出来ます。
- 設定後にもう一度 ➡ ボタンを押すと散水停止日の設定が出来ます。
- − ボタンで散水停止日を設定して下さい。

左の表示は
・3日に1回散水
・2日後に次の散水実行
・毎週日曜は散水停止
となります。

DAYS LEFT=残日数

次の散水日までの日数設定です。「0」表示の日に散水します。設定後はダイヤルを 散水日の設定 にあわせて、確認します。

・ダイヤルを 自動運転 に戻して、完了です。

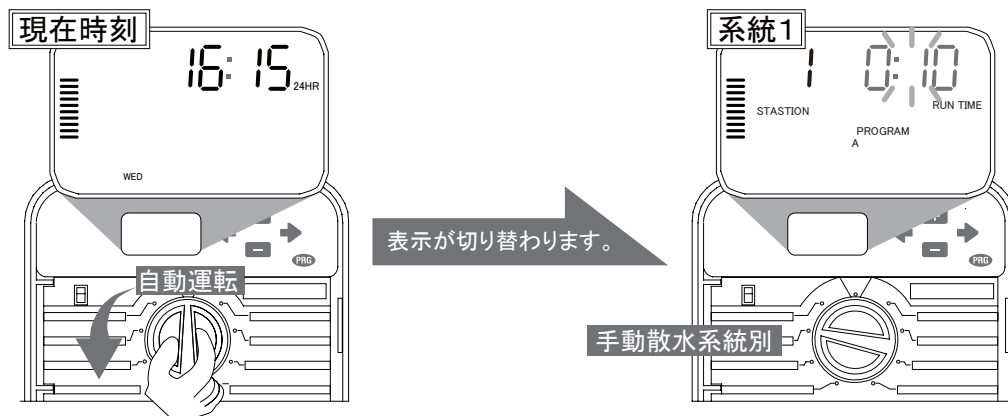
必ずインターバル画面の状態でダイヤルを戻して下さい。

散水日の設定

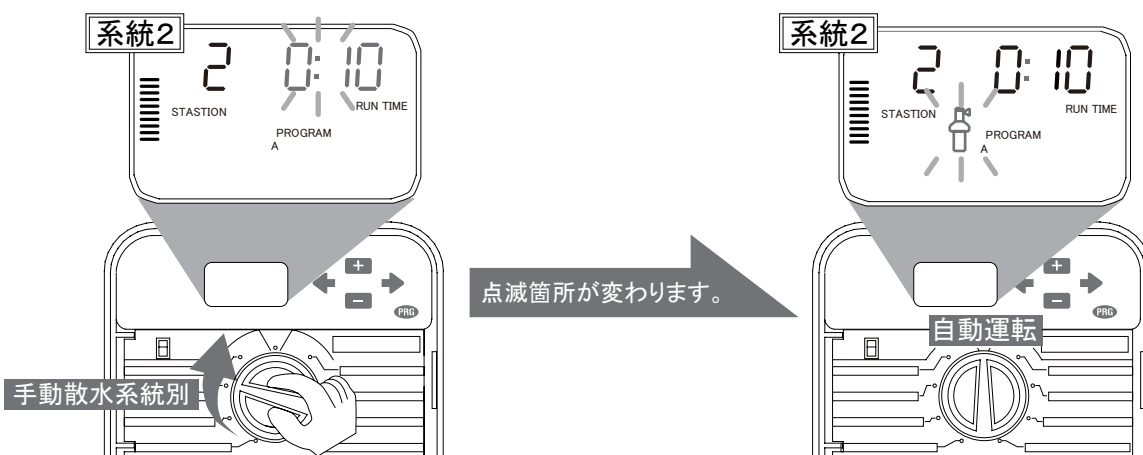
V．手動散水系統別

・手動で散水をします。（系統毎の時間設定が可能です。）
・設定済みの「散水時間」から時間の増減が可能です。
・センサーで散水停止中の場合でも水を撒く事ができます。

設定例：指定した系統のみを手動で水を出す場合
1系統のみ散水（全系統の場合は23ページ参照）

・ダイヤルを 手動散水系統別 に合わせます。「SENSOR OFF」の状態でも水が出ます。

・⇦ ⇨ ボタンで水を撒きたい系統に合わせます。

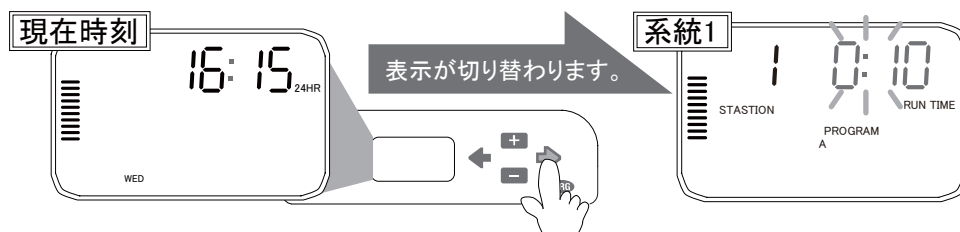
・＋ － ボタンで『散水時間』を変更します。（表示時間のままで良い場合は次へ）

・ダイヤルを 自動運転 の所まで回して下さい、しばらく経つと自動散水が始まります。

途中で散水を中止する場合は 散水停止 にダイヤルを合わせて、停止を確認した後 自動運転 にダイヤルを戻して下さい。

vi. 手動散水全系統

・手動で散水をします。（系統毎の時間設定が可能です。）
・全系統同時には水は出ません。（順番に出ます。）
・センサー作動中の場合は解除して下さい。

設定例：すべての系統を手動で水を出す場合

・➡ を押し続けます。（液晶が「SENSOR OFF」表示の場合はセンサー解除して下さい。）

すぐに次のボタン入力をしないと設定済みの散水時間で全系統自動散水が始まります。（変更しない場合は以上で完了です。変更する場合は次の操作へ）

・⬅ ➡ ボタンで時間を変更したい系統に合わせ ＋ － ボタンで散水時間を変更します。

系統2だけ水を撒きたくない場合には、散水時間を0分にすると系統2はスキップされます。

・⬅ で「系統1」の表示画面に戻し、そのままにしておくと散水を開始します。

系統1まで戻さないと時間変更を最後にした系統番号からの散水となり、系統番号が前の系統は散水されません。

⚠ 散水中はボタンを押さないで下さい。

⬅ ➡ ボタンを押すと現在散水中の系統がスキップされます。

＋ － ボタンを押すと散水時間が変更されます。

ⅶ. 散水停止

・散水中にダイヤルを合わせると中断出来ます。
・設定を残したままで、無期限もしくは1～7日間の散水停止が出来ます。

・ダイヤルを 散水停止 に合わせると液晶にOFFが表示されます。
散水中は散水が中断され、それ以外の場合は設定を残したまま設定が実行されません。

・自動散水中、手動散水中に限らず中断出来ます。
・散水の中断を確認した後は 自動運転 にダイヤル戻して下さい。
戻し忘れると散水停止状態のままになります。

ⅷ. 季節散水時間調整

・設定済みの散水時間の増減が一括で簡単に出来ます。
・季節に合わせて散水時間の調整が出来ます。（完了時間も変わります。）

・ダイヤルを 季節散水時間調整 に合わせて ＋ － ボタンで散水時間を調整します。

初期設定は100％で5％単位で全系統の散水時間増減する事が出来ます。

・毎分の散水量を変えるものではありません。
・散水時間を「60分」で設定してある場合は3分単位（60分の5％）で
時間が増減します。
・散水時間の上限は6時間、下限は1分です。（この操作で0分にはなりません。）
・％の上限は300％、下限は5％です。
・散水完了時間も変わりますのでご注意下さい。

・ダイヤルを 自動運転 の所まで戻して下さい。

EX. プログラムABCでの運用

プログラム運用は若干システムが複雑な為、通常入力しないように
お願いしておりますが、万一必要な場合を想定して運用される場合の
手助けとして紹介します。

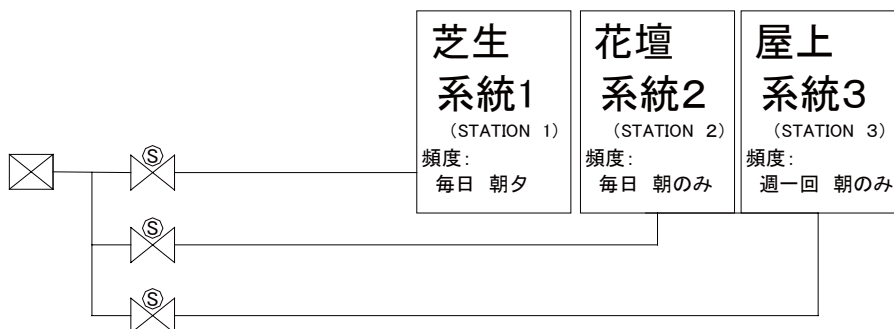
⚠ 季節ごとの運用は出来ませんので都度設定変更してください。

例① 1日に4回～12回に分けて散水する場合。

1～4回（通常） ：プログラムA
5～8回目／日 ：プログラムB
9～12回目／日 ：プログラムC

例② 3系統で植栽が3種類あり、水を与える頻度を分けたい場合。
最大3系統まで、それぞれの散水頻度や時間を変更することが出来ます。

PRG	プログラムA	プログラムB	プログラムC
植栽	芝生	花壇	屋上
頻度	毎日2回	毎日1回	毎週 水曜一回
開始時刻 散水時間	朝 6:00～ 15分 夕 19:00～ 同上	朝 7:00～ 5分	朝 8:00～ 10分

※1系統あたりの散水時間は1回しか設定出来ません。

各プログラム	散水開始時刻	散水時間	曜日設定
プログラムA	① 6:00	系統1 15分 系統2 0分 系統3 0分	毎日
	② 19:00	同上	
	③ OFF	各0分	
	④ OFF	各0分	
プログラムB	① 7:00	系統1 0分 系統2 5分	毎日
		系統3 0分	
	②～④OFF	各0分	
プログラムC	① 8:00	系統1 0分 系統2 0分	毎週水曜
		系統3 10分	
	②～④OFF	各0分	

※この場合、プログラムAに芝生の散水時間を入力します。
プログラムB,Cには散水時間を0分として下さい。
※プログラムB,及びCがプログラムAと散水設定時間が
重複する場合はプログラムAの散水が完了後B,Cの
散水が開始されますので、B,C開始時刻が設定よりも
遅れる場合があります。

5. よくあるQ&A①

ご使用中に異常が発生した場合は下記を参考に点検をして下さい。
万が一症状が改善されない場合は販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

症状	原因	解決方法
・液晶が表示されない	・電源供給がされていない。	①AC100V電源と配線を調べ、不良箇所を直して下さい。 ②新しいバックアップ電池を取付て下さい。
	・操作パネル裏のコネクタは接続されていますか？	コネクタを差し込んで下さい。
	・コントローラーがモジュールを認識していない。	本体配電盤のモジュールが正しく接続されているか確認し、P12を参照の上、復旧して下さい。
・「ERR」の画面表示されている	・システムが電磁波の影響を受けている。	コントローラと附近の電磁波が発生している機器を離し、制御線を延長していたら保護用制御線に取り替えて下さい。
・「P　ERR」の画面表示がされる	・ポンプ（P/MV）に接続している端子に問題がある。 （配線がショートしているなど）	①本体とポンプの制御線を交換、修理して下さい。 ②配線内に浸水が無いか確認して下さい。
・「2　ERR」の画面表示がされる （数字の箇所は系統数に応じて変わります。）	・電磁弁につながる制御線がショートしている。	①表示されている系統の制御配線を交換、修理して下さい。 ②配線内に浸水が無いか確認して下さい。
・「NO　AC」の点滅表示がされる	・AC100V電源がコントローラに来ていない。	コンセント、パネルコネクター、ブレーカ、配線類が正しく接続されているか確認して下さい。
・液晶表示はしているが散水されない	・時刻,散水開始時刻,散水時間それぞれ設定してありますか?	説明書（本書）を参考に入力して下さい。 停電等が原因で長時間通電が無かった場合設定が破損している場合があります。
	・止水栓は開いていますか？	止水栓を開けて下さい。
	・ダイヤルが《自動散水》になっていますか？	ダイヤルを自動散水に合わせてください。
	・センサーが機能している。 ・「OFF SENSOR」の表示が出ている。	センサーが作動しています。 散水したい場合は手動にて行って下さい。 P22参照
	・配管、制御線の接続は正しくされていますか？	止水栓を閉め、接続されているかをご確認下さい。
	・配管、制御線などに損傷はありませんか？	止水栓を閉め、損傷箇所を直して下さい。
	・設定時刻が重複していませんか？	時刻設定を確認して下さい。
	・電磁弁の流量調節用ツマミが閉められている。	反時計回しにツマミを回すと流量が多くなります。（回し過ぎに注意！）
	・ストレーナーに異物が詰まっている。	ストレーナーのツマミを回して異物を除去して下さい。
・指定された時刻以外に水が出てしまう。 （次ページに続く）	・散水開始時刻、散水時間は正しく入力されていますか？	説明書（本書）を参考に入力して下さい。
	・PRG（プログラム）を組んである	プログラムA以外の設定を確認して下さい。 必要なければ消去して下さい。 P5,P19,P25参照
	・液晶が「DELAY」を表示している.	設定時間から延長して散水しています。 設定時間を確認下さい。
	・設置場所に高低差がある。	配管内の水が残っている場合は散水終了後も水が少量出る場合があります。

5. よくあるQ&A②

症状	原因	解決方法
・指定された時刻以外に水が出てしまう。	・電磁弁異常	①ソレノイド「SOLENOID」(配線の伸びている黒い棒状の栓)が緩んでいる、時計回しに閉めて下さい。
		②電磁弁内部に異物が詰まっている分解して洗浄、もしくは交換して下さい。
・各センサーが正しく作動しない	・本体配電盤の金属プレートが付いたままになっている。	金属プレートが外れているか確認して下さい。P11参照
	・操作パネルのスイッチが「センサー解除」になっている。	「センサー作動」に切り替えて下さい。P5参照
	・センサーは正しく取付けられていますか?	正しく取り付けして下さい。P11参照
	・その他 雨が降っているのに散水をしている。	センサーの仕様で降雨中でも水が出ることがあります。散水を止めたい場合はダイヤルを《散水停止》にします。(後で戻して下さい。)仕様、状況に付いてはP6参照
・コントローラーが設置電磁弁を認識しない (系統数が正しくない)	・コントローラーがモジュールを認識していない。	本体配電盤のモジュールが正しく接続されているか確認し、P12を参照の上、復旧して下さい。
・鍵を紛失した		予備の鍵を別売りで用意しています。

No.C10-01-07

	系統番号 1	系統番号 2	系統番号 3	系統番号 4	系統番号 5	系統番号 6	系統番号 7	系統番号 8	系統番号 9	系統番号 10	系統番号 11	系統番号 12
植栽種類												
散水開始時刻												
	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間
1回目												
2回目												
3回目												
4回目												

	系統番号 1	系統番号 2	系統番号 3	系統番号 4	系統番号 5	系統番号 6	系統番号 7	系統番号 8	系統番号 9	系統番号 10	系統番号 11	系統番号 12
植栽種類												
散水開始時刻												
	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間
1回目												
2回目												
3回目												
4回目												

	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号	系統番号
植栽種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
植栽種類												
散水開始時刻												
	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間	散水時間
1回目												
2回目												
3回目												
4回目												